

「建設ディレクター育成講座」 オンラインで開始

コロナ受け ZOOM活用



プレ交流会の様子。講座はZOOMを使って行われている

ITとコミュニケーションで現場を支援する人材を育成

県建設業協会と建設ディレクター協会は6月16日から「建設ディレクター育成講座」をオンラインで開始している。事務職の女性などバックオフィスの人材を、ITスキルとコミュニケーションスキルでオフィスと現場をつなぎ、現場担当者の書類業務を支援する「建設ディレクター」に育成することが目的。当初は松筑建設会館での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からウェブ会議アプリ「ZOOM」を使ったものに変更し、実施して

いる。

参加者は、県内の協会員各社から女性だけでなく男性も含め19人。6月10日にはZOOMの接続テストと参加者の顔合わせを兼ねたプレ交流会を開き、カリキュラムの説明やZOOMを使って講座を進める上でのポイントなども共有した。

受講生で川中島建設の工務本部に所属する北澤蓉子さん、「建設業とは何かといった基本的なことから、コミュニケーションスキルやアンガーマネジメントなどを学

び、勉強になっています。講座の中盤から後半にかけては専門的な技術も学ぶことになっていて、楽しみです」と参加した感想を話す。「ZOOMはずっと見られているような気がして大変なところもありますが、しっかり学んで、現場担当者をしっかりサポートできるようになりたいと思っています。社内でも『大変だね』と言ってくれる人が多くて、応援してくれる先輩もいて、励みになります」と語った。

講座は7月30日まで全8回・計48時間を予定している。